

AWARD

Since
1968

公益財団法人 日本プロスポーツ協会

2024
会報誌「アワード」
vol.3



スペシャル対談

北口榛花

(やり投)

イボミ

(女子プロゴルフ)

石川佳純

(女子卓球)

宮澤ひなた

(女子プロサッカー)



©NHK-dwarf

NHK
sports

NHKのスポーツ中継・番組の
放送予定はこちらのサイトでチェック!
ハイライト動画、特集記事も
盛りだくさん!!



<https://nhk.jp/sports>



NHKプラスで視聴できるスポーツの番組はこちら

いつでも どこでも、NHKの番組を。

NHK+



NHK G **NHK E** 総合・Eテレの番組を
スマホやタブレット・
パソコン・テレビ(一部)で
放送から1週間 何度でも
お楽しみいただけます!

アプリで便利!

※1 テレビでは別途番組配信のみ
※2 地域の一部は延長の番組配信



受信契約者の名前と住所を入力すればすぐに使えます。
受信契約がある世帯の方は、
別途のお支払い・契約は必要ありません。

NHKプラスの利用登録に関するお問い合わせ

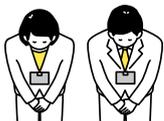
ナビダイヤル **0570-099-033** 午前9時～午後5時
[土・日・祝日も受付]
ナビダイヤルをご利用にならない場合 **050-3786-5007** ※12月31日午後9時～1月31日午後9時までは受付不可

詐欺にご注意 「NHKプラス」に関して、訪問・電話・郵便・メールを問わず、追加料金の請求を行うことはありません。またサービスの利用登録にあたり、銀行口座やクレジットカードの情報は必要ありません。



利用登録はこちらから

<https://plus.nhk.jp/info/>



NHKは、みなさまと受信料で支えられています
受信料制度へのご理解と、ご契約のお手続きをよろしくお願いいたします

お手続きは
こちらから

<https://www.nhk-cs.jp/jushinryo/>



放送受信料に関する
お問い合わせ

ホームページ「NHK受信料の窓口」
<https://www.nhk-cs.jp/jushinryo/>

NHKふれあいセンター **ナビダイヤル 0570-077-077**

IP電話等で上記の電話番号がご利用にならない場合 **050-3786-5003(有料)** 午前9時～午後6時 土・日・祝日も受付



AWARD

会報誌「アワード」vol.3

Contents

公益財団法人 日本プロスポーツ協会の概要	04
会長挨拶 麻生 太郎	05
内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞 選考要項	06
歴代日本プロスポーツ大賞 授賞式	07
歴代大賞受賞者	08
歴代殊勲賞受賞者	09
第53回 日本プロスポーツ大賞授賞式	
内閣総理大臣杯 大賞	10
殊勲賞・NHK賞授賞式	11
殊勲賞・特別賞・最高新人賞	12
敢闘賞・功労賞・新人賞	13
スポーツ功労賞 / 文部科学大臣顕彰	13
スペシャル対談	
やり投 北口榛花 女子プロゴルフ イボミ	16
女子卓球 石川佳純 女子プロサッカー 宮澤ひなた	
熱海富士 スペシャルインタビュー	22
 Part 3 : 1978~1981 日本プロスポーツ大賞の歴史	25

公益財団法人日本プロスポーツ協会会報誌AWARD

発行日：2024年8月30日

発行元：公益財団法人日本プロスポーツ協会

THE JAPAN PROFESSIONAL SPORTS ASSOCIATION (略称 J.P.S.A)

発行人：秋山 政徳

編集人：倉田 勝彦

- 所在地：東京都千代田区麹町1-3-23 麹町1丁目3番地ビル9階
- 電話番号：03-6272-4102
- FAX番号：03-6272-4889
- URL：http://jpsa.jp
- E.Mail：info@jpsa.jp



日本プロスポーツ協会では、SDGs(持続可能な開発目標)17項目のうち、8つの目標に尽力、貢献しております。

スポーツによってSDGs の目標達成に貢献するため2018年12月に定められた「Sports for Climate Action Framework」は、気候変動問題に対する枠組みです。

IOC、FIFA、東京2020組織委員会などの団体が署名し、スポーツによってSDGs の目標達成を目指す世界的な活動として注目されており、本協会もその取り組みに協力しています。また、本会報誌「AWARD」においても環境へ配慮した資材調達などから持続可能な社会の実現に貢献しております。



このラベルは、国際基準を満たす「適切な森林管理」をされた認証林からの木材やその他、リスクの低い原材料から作られた製品につけられるマークです。Forest Stewardship Council®(FSC®:森林管理協議会)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体です。

公益財団法人日本プロスポーツ協会の概要

設立沿革

本法人は、我国におけるプロスポーツ界の健全な発展と社会貢献及び国民のプロスポーツへの関心を高める目的として、1968年に日本プロスポーツ会議として発足しました。その後1990年に財団法人化を行い、2014年4月に公益財団法人に認定され、設立より52年間の歴史を有しています。主な事業活動として、「内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞」「功労者文部大臣顕彰（文科省）」、そして「NHK杯（日本放送協会）」等、表彰・国家顕彰の授与式を主催してまいりました。

目的

プロスポーツの水準の向上と発展を図ることにより、国民の余暇活動の充実に資するとともに、プロスポーツ選手の社会的地位の向上を図り、並びに国民のスポーツへの関心を高め、もって我が国のスポーツの発展に寄与する。

事業内容

- プロスポーツの振興発展のための調査研究
- プロスポーツの進行に功績のあった者に対する表彰
- プロスポーツに関する内外情報の収集、提供及び出版物の刊行、その他の広報
- プロスポーツに関する国際交流の推進
- プロスポーツに関する講習会および研修会の開催

日本プロスポーツ会議及び日本プロスポーツ協会 歴代会長



初代
八田 一郎



2代目
椎名 悦三郎



3代目
中曽根 康弘



4代目
櫻内 義雄



5代目
柳川 覚治



6代目
森 喜朗



7代目
島村 宜伸

会長挨拶



公益財団法人 日本プロスポーツ協会
会長

麻生 太郎

平素より、プロスポーツ関係者の皆様におかれましては、本協会に対し、格別なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

七月末に開幕したパリ五輪は、オリンピック史上初、男女の出場選手数がほぼ同数となり、開会式がスタジアムの外で行われるなど、新しい取り組みが数多くなされた大会となりました。

世界中に熱狂と感動を与え、その中でも日本人選手の活躍は目覚ましく、日本での放送は深夜にも関わらず多くの視聴者を釘付けにしました。

日本プロスポーツ大賞の式典では、その年に活躍した選手や、永くスポーツの発展に貢献した選手を讃え、社会に公表することで、選手本人の栄誉と修養に寄与していると考えております。

今年度の授賞式ではどの選手が受賞し、また、授賞式のお会いできるのを楽しみにしております。

本協会の運営に関わる諸官庁、内閣府、文科省および経済界、スポーツ界の皆様におかれましては、倍旧のご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

スポーツが持つ力は無限です。本協会の活動がその発展の一角を担うことができるよう、全力で取り組んでまいります。

今後もこの炎を途絶えさせることなく、最善を尽くして参ります

日本プロスポーツ大賞とは

我が国のプロスポーツ界の健全な発展ならびに振興に寄与することを目的として、1968年(昭和43年)の第1回日本プロスポーツ大賞より毎年開催されています。大賞受賞者には、国家的表彰として内閣総理大臣杯と賞状が授与されます。

選考要項

日本プロスポーツ大賞(1名)

当核年度1か年にプロスポーツ界全般(日本プロスポーツ協会加盟団体が否かは問わない)を通じ、国籍を問わず、あらゆる意味で、最も貢献度の大きい業績を残したと認められる選手及び団体(チーム)に与えられる。本賞受賞者には、国家的表彰として内閣総理大臣杯と(公財)日本プロスポーツ協会会長杯(楯)と賞状、賞金が授与される。

殊勲賞(3名)

日本プロスポーツ大賞に次ぐ抜群の業績をたたえ得るもの。大賞と同様に選手及び団体(チーム)に限る。本賞受賞者には、(公財)日本プロスポーツ協会会長杯(楯)賞状、賞金が授与される。

最高新人賞(1名)

新人賞受賞者の中で、もっとも貢献度の大きい業績を残した選手に与えられる。楯と賞状、賞金が授与される。

新人賞(ダンスはペアで1名とする)

当該年度1か年に新人として抜群の業績を残した選手に与えられる。楯と賞状、賞金が授与される。

功労賞(ダンスはペアで1名とする)

プロスポーツの発展に長年にわたり貢献した個人に与えられる。楯と賞状、賞金が授与される。

選出方法

日本プロスポーツ大賞・殊勲賞

東京運動記者クラブ加盟のテレビ、ラジオおよび新聞、通信社のスポーツ記者で構成される選考委員の投票に基づき、選考委員代表者立会いのもと選考した後、理事会の承認を得て決定する。

特別賞・功労賞・新人賞

各加盟団体の推薦を得て、理事会の審議を経て、理事会により決定する。

最高新人賞

新人賞の中から、選考委員(大賞、殊勲賞の選考委員)の投票により選考後、理事会の承認を得て決定され、受賞者には、楯と賞状、賞金が授与されます。なお、同点得票の場合は、選考委員代表者および理事会メンバーで決定する。

* 大賞、殊勲賞、特別賞、最高新人賞は、本人に受賞の意志または授賞式に出席の意志がない場合は、当選無効とし次点の者に繰り上げられる。功労賞、新人賞も上記に準ずるが、客観的理由があり、やむを得ず欠席する場合は、代理人による受賞を認める。

選考委員

朝日新聞社
朝日新聞国際本部
アール・エフ・ラジオ日本
RKB毎日放送
茨城新聞社
AP通信社
英文毎日
NHK
FM東京
FMNACK5
神奈川新聞社
河北新報社
共同通信社
埼玉新聞社
産業経済新聞社
サンケイスポーツ
Jスポーツ
時事通信社
信濃毎日新聞

下野新聞社
ジャパン・ニュース
ジャパントゥタイムズ
上毛新聞社
スポーツニッポン新聞社
千葉テレビ放送
千葉日報社
中国新聞社
中日新聞(東京新聞)
中日新聞(東京中日スポーツ)
TBSFVE
TBSラジオ&コミュニケーションズ
TVKテレビ
デイリースポーツ
テレビ朝日
テレビ埼玉
テレビ東京
東京スポーツ新聞社
東京メトロポリタンテレビジョン

道新スポーツ
新潟日報社
西日本新聞社
日刊スポーツ新聞社
日経ラジオ社
日本経済新聞社
ニッポン放送
日本テレビ放送網
FOXSPORTSジャパン
フジテレビジョン
文化放送
報知新聞社
北海道新聞社
毎日新聞社
夕刊フジ
読売新聞社
WOWOW

以上55社(50音順・敬称略)



日本プロスポーツ大賞 授賞式



2023年 侍ジャパン(プロ野球)



2018年 大谷 翔平(プロ野球)



2022年 井上 尚弥(プロボクシング)



2017年 福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)



2013年 田中 将大(プロ野球)



2010年 白鵬 翔(大相撲)



大賞 歴代受賞者

1968年(昭和43年)	西城 正三(プロボクシング)
1969年(昭和44年)	読売ジャイアンツ(プロ野球)
1970年(昭和45年)	大鵬 幸喜(大相撲)
1971年(昭和46年)	長嶋 茂雄(プロ野球)
1972年(昭和47年)	松本 勝明(自転車競技)
1973年(昭和48年)	沢村 忠(キックボクシング)
1974年(昭和49年)	王 貞治(プロ野球)
1975年(昭和50年)	広島東洋カープ(プロ野球)
1976年(昭和51年)	王 貞治(プロ野球)
1977年(昭和52年)	王 貞治(プロ野球)
1978年(昭和53年)	ヤクルトスワローズ(プロ野球)
1979年(昭和54年)	具志堅 用高(プロボクシング)
1980年(昭和55年)	具志堅 用高(プロボクシング)
1981年(昭和56年)	中野 浩一(自転車競技)
1982年(昭和57年)	落合 博満(プロ野球)
1983年(昭和58年)	広岡 達朗(プロ野球)
1984年(昭和59年)	衣笠 祥雄(プロ野球)
1985年(昭和60年)	ランディー・バース(プロ野球)
1986年(昭和61年)	落合 博満(プロ野球)
1987年(昭和62年)	岡本 綾子(女子プロゴルフ)
1988年(昭和63年)	千代の富士 貢(大相撲)
1989年(平成元年)	千代の富士 貢(大相撲)
1990年(平成2年)	野茂 英雄(プロ野球)
1991年(平成3年)	辰吉 丈一郎(プロボクシング)
1992年(平成4年)	貴ノ花 光司(大相撲)
1993年(平成5年)	三浦 知良(サッカー)
1994年(平成6年)	イチロー(プロ野球)

1995年(平成7年)	イチロー(プロ野球)
1996年(平成8年)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)
1997年(平成9年)	中田 英寿(サッカー)
1998年(平成10年)	佐々木 主浩(プロ野球)
1999年(平成11年)	松坂 大輔(プロ野球)
2000年(平成12年)	松井 秀喜(プロ野球)
2001年(平成13年)	イチロー(プロ野球)
2002年(平成14年)	2002FIFAワールドカップ日本選手団(サッカー)
2003年(平成15年)	松井 秀喜(プロ野球)
2004年(平成16年)	朝青龍 明德(大相撲)
2005年(平成17年)	朝青龍 明德(大相撲)
2006年(平成18年)	ワールド・ベースボール・クラシック日本代表(プロ野球)
2007年(平成19年)	浦和レッドダイヤモンズ(Jリーグ)
2008年(平成20年)	石川 遼(男子プロゴルフ)
2009年(平成21年)	石川 遼(男子プロゴルフ)
2010年(平成22年)	白鵬 翔(大相撲)
2011年(平成23年)	なでしこジャパン(サッカー)
2012年(平成24年)	阿部 慎之助(プロ野球)
2013年(平成25年)	田中 将大(プロ野球)
2014年(平成26年)	錦織 圭(プロテニス)
2015年(平成27年)	ラグビー日本代表(ラグビー)
2016年(平成28年)	大谷 翔平(プロ野球)
2017年(平成29年)	福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)
2018年(平成30年)	大谷 翔平(プロ野球)
2022年(令和4年)	井上 尚弥(プロボクシング)
2023年(令和5年)	侍ジャパン(プロ野球)



殊勲賞 歴代受賞者

1968年(昭和43年)	玉の海 正夫(大相撲)	江夏 豊(プロ野球)	沢村 忠(キックボクシング)
1969年(昭和44年)	金田 正一(プロ野球)	小林 弘(プロボクシング)	清国 忠雄(大相撲)
1970年(昭和45年)	三浦 雄一郎(プロスキー)	小林 弘(プロボクシング)	中山 律子(ボウリング)
1971年(昭和46年)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)	大場 政夫(プロボクシング)	長池 徳二(プロ野球)
1972年(昭和47年)	堀内 恒夫(プロ野球)	大場 政夫(プロボクシング)	坂口 征二(プロレス)
1973年(昭和48年)	輪島 功一(プロボクシング)	阿部 道(自転車競技)	王 貞治(プロ野球)
1974年(昭和49年)	柴田 国明(プロボクシング)	北の湖 敏満(大相撲)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)
1975年(昭和50年)	村上 隆(男子プロゴルフ)	沢松 和子(テニス)	ガッツ 石松(プロボクシング)
1976年(昭和51年)	具志堅 用高(プロボクシング)	樋口 久子(女子プロゴルフ)	阪急ブレーブス(プロ野球)
1977年(昭和52年)	樋口 久子(女子プロゴルフ)	具志堅 用高(プロボクシング)	阪急ブレーブス(プロ野球)
1978年(昭和53年)	具志堅 用高(プロボクシング)	青木 功(男子プロゴルフ)	北の湖 敏満(大相撲)
1979年(昭和54年)	青木 功(男子プロゴルフ)	中野 浩一(自転車競技)	三重ノ海 剛司(大相撲)
1980年(昭和55年)	青木 功(男子プロゴルフ)	木田 勇(プロ野球)	中野 浩一(自転車競技)
1981年(昭和56年)	千代の富士 貢(大相撲)	倉本 昌弘(男子プロゴルフ)	中島 常幸(男子プロゴルフ)
1982年(昭和57年)	広岡 達朗(プロ野球)	中野 浩一(自転車競技)	岡本 綾子(女子プロゴルフ)
1983年(昭和58年)	隆の里 俊英(大相撲)	中野 浩一(自転車競技)	中島 常幸(男子プロゴルフ)
1984年(昭和59年)	岡本 綾子(女子プロゴルフ)	中野 浩一(自転車競技)	渡辺 二郎(プロボクシング)
1985年(昭和60年)	千代の富士 貢(大相撲)	落合 博満(プロ野球)	中島 常幸(男子プロゴルフ)
1986年(昭和61年)	中野 浩一(自転車競技)	浜田 剛史(プロボクシング)	千代の富士 貢(大相撲)
1987年(昭和62年)	千代の富士 貢(大相撲)	森 祇晶(プロ野球)	衣笠 祥雄(プロ野球)
1988年(昭和63年)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)	門田 博光(プロ野球)	森 祇晶(プロ野球)
1989年(平成元年)	藤田 元司(プロ野球)	武 豊(中央競馬)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)
1990年(平成2年)	森 祇晶(プロ野球)	千代の富士 貢(大相撲)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)
1991年(平成3年)	貴花田 光司(大相撲)	尾崎 直道(男子プロゴルフ)	中嶋 悟(F1)
1992年(平成4年)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)	三浦 知良(サッカー)	石井 丈裕(プロ野球)
1993年(平成5年)	曙 太郎(大相撲)	古田 敦也(プロ野球)	ラモス 瑠偉(Jリーグ)
1994年(平成6年)	貴乃花 光司(大相撲)	薬師寺 保栄(プロボクシング)	南井 克巳(中央競馬)
1995年(平成7年)	尾崎 将司(男子プロゴルフ)	貴乃花 光司(大相撲)	伊達 公子(テニス)
1996年(平成8年)	イチロー(プロ野球)	松井 秀喜(プロ野球)	十文字 貴信(自転車競技)
1997年(平成9年)	辰吉 丈一郎(プロボクシング)	古田 敦也(プロ野球)	福岡 晃子(女子プロゴルフ)
1998年(平成10年)	中田 英寿(Jリーグ)	中山 雅史(Jリーグ)	イチロー(プロ野球)
1999年(平成11年)	武蔵丸 光洋(大相撲)	上原 浩治(プロ野球)	中田 英寿(Jリーグ)
2000年(平成12年)	佐々木 主浩(プロ野球)	中村 俊輔(Jリーグ)	畑山 隆則(プロボクシング)
2001年(平成13年)	タフィー・ローズ(プロ野球)	伊沢 利光(男子プロゴルフ)	古田 敦也(プロ野球)
2002年(平成14年)	松井 秀喜(プロ野球)	丸山 茂樹(男子プロゴルフ)	朝青龍 明德(大相撲)
2003年(平成15年)	阪神タイガース(プロ野球)	不動 裕理(女子プロゴルフ)	横浜F・マリノス(Jリーグ)
2004年(平成16年)	松中 信彦(プロ野球)	浦和レッドダイヤモンドズ(Jリーグ)	不動 裕理(女子プロゴルフ)
2005年(平成17年)	井口 資仁(アメリカ大リーグ)	千葉ロッテマリーンズ(プロ野球)	ガンバ大阪(Jリーグ)
2006年(平成18年)	北海道日本ハムファイターズ(プロ野球)	朝青龍 明德(大相撲)	浦和レッドダイヤモンドズ(Jリーグ)
2007年(平成19年)	中日ドラゴンズ(プロ野球)	武 豊(中央競馬)	松坂 大輔(プロ野球)
2008年(平成20年)	埼玉西武ライオンズ(プロ野球)	白鵬 翔(大相撲)	岩隈 久志(プロ野球)
2009年(平成21年)	原 辰徳(プロ野球)	ワールド・ベースボール・クラシック日本代表(プロ野球)	白鵬 翔(大相撲)
2010年(平成22年)	SAMURAI BLUE(サッカー日本代表)(サッカー)	千葉ロッテマリーンズ(プロ野球)	宮里 藍(女子プロゴルフ)
2011年(平成23年)	福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)	柏レイソル(Jリーグ)	白鵬 翔(大相撲)
2012年(平成24年)	読売ジャイアンツ(プロ野球)	サンフレッチェ広島(Jリーグ)	なでしこジャパン(サッカー)
2013年(平成25年)	東北楽天ゴールデンイーグルス(プロ野球)	山中 慎介(プロボクシング)	白鵬 翔(大相撲)
2014年(平成26年)	白鵬 翔(大相撲)	福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)	金子 千尋(プロ野球)
2015年(平成27年)	福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)		
2016年(平成28年)	広島東洋カープ(プロ野球)	北海道日本ハムファイターズ(プロ野球)	
2017年(平成29年)	村田 諒太(プロボクシング)	デニス・サファテ(プロ野球)	佐藤 琢磨(インディカー・シリーズ)
2018年(平成30年)	井上 尚弥(プロボクシング)	サッカー日本代表(Jリーグ)	福岡ソフトバンクホークス(プロ野球)
2022年(令和4年)	国枝 慎吾(プロ車いすテニス)	大谷 翔平(大リーグ)	村上 宗隆(プロ野球)
2023年(令和5年)	北口 榛花(やり投)	大谷 翔平(大リーグ)	井上尚弥(プロボクシング)

内閣総理大臣杯 大賞



殊勲賞・NHK賞



殊勲賞・特別賞・最高新人賞



敢闘賞・功労賞・新人賞



スポーツ功労賞 / 文部科学大臣顕彰



ALL-NEW

TRITON

新型トライトン、日本上陸。



MITSUBISHI
MOTORS

Drive your Ambition

トライトン WEBサイトはこちら
www.mitsubishi-motors.co.jp





TRITON

○Photo: GSR ボディカラー: ヤマブキオレンジメタリック(有料色) ○写真はイメージです。

スピードは控えめに。エコドライブで環境にやさしく。後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

石川佳純

[女子卓球]

宮澤ひなた

[女子プロサッカー]

飛躍と激動の1年、そして
永年日本のプロスポーツ界に
貢献してきたアスリートたちの
スペシャル対談

Special Dialogue

インタビュアー
松井 康真

●まずは宮澤さん、2023年、最後の最後に骨折という大きな怪我をしてしまいました。今年はどのような年でしたか？

2023年度日本プロスポーツ大賞殊勲賞・NHK賞を受賞された北口榛花さん、功労賞を受賞されたイボミさん、同じく功労賞を受賞された石川佳純さん、敢闘賞を受賞された宮澤ひなたさんにお越しいただきました。

宮澤 すごくめまぐるしい一年でした。ワールドカップもありましたし、私自身初めての海外への挑戦だったので、本当に色々なことが新しく、最後の最後でけがという、色々な感情があった一年でした。

●北口さんも今年はずいぶんでしたね。北口 はい(笑)自分がテレビに映っていることが自分自身でも信じられないぐらい、本当に同じ人なのかなってびっくりしています。

●8月の世界陸上の最終投てきで見事逆

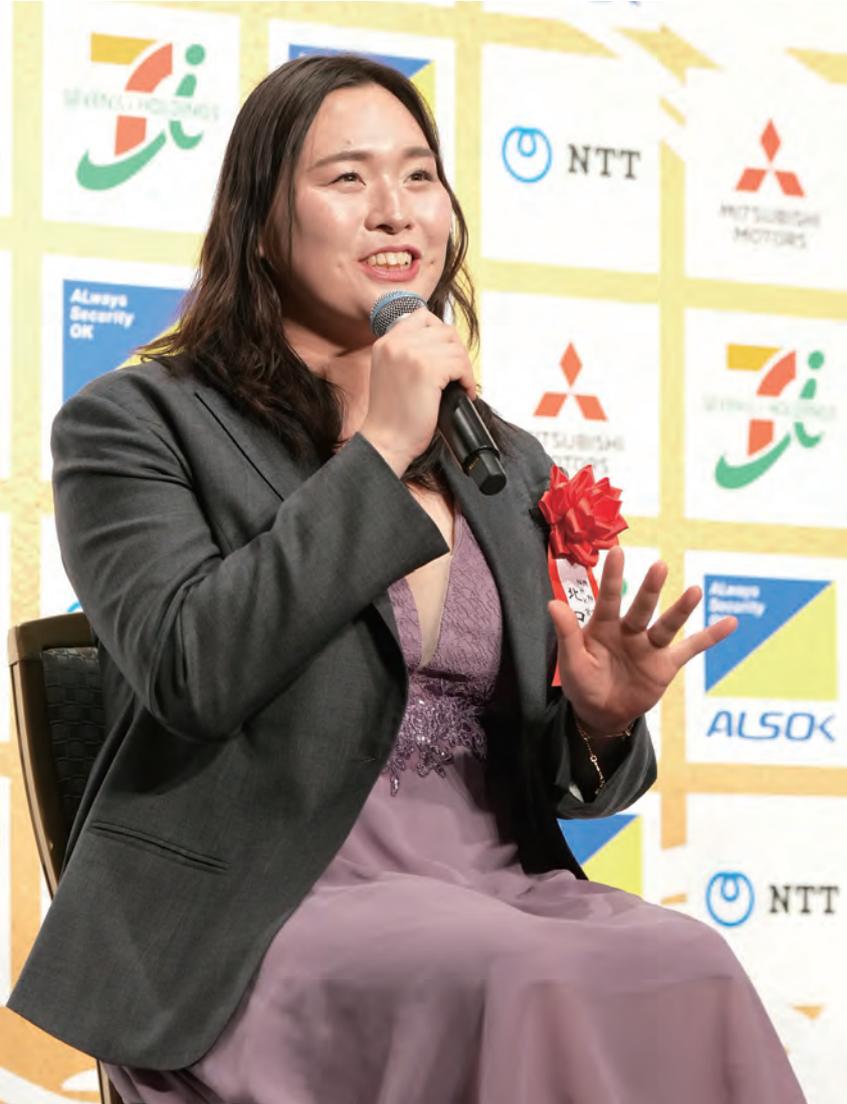


北口榛花

[やり投]

イボミ

[女子プロゴルフ]



転優勝を飾るのですが、どのような気持ちで最終6投目を投げましたか？

北口 本当に負けたくないという気持ちと、あとは自分のやりたいように投げようって思って投げました。

●そして石川佳純さんです。私から見たらまだまだ引退は早すぎると思ってしまうのですが、引退して肩の荷はありましたか？

石川 現役時代はずっと練習と試合の繰り返しだったので、生活はガラッと変わりました、本当に新鮮な日々



を過ごしております。

●今全国を回っていますよね？

石川 はい、47都道府県サックスツアーという卓球教室をやらせていただきます。

今14カ所行っていて、2年ぐらいで完走したいなと思っています。全国の子供たちに卓球をはじめ、スポーツの楽しさを伝えたいなという思いでやらせていただいています。

●イボミさん、今年で最後になるという

ことで、私もニュースでしか拝見できなかったのですが、最後のツアーで選手やファンの皆様ピンクのTシャツを着ていらっしゃるって、あれはご存じでしたか？

イボミ サプライズをいただきました。本当に感激しましたし、幸せな時間でした。

選手の皆様が待っていてくれて、ファンの皆さんもグッズを買って応援してくださったので、本当に嬉しかったです。

●イボミさんは韓国でチャンピオンにな

られて、次の挑戦をアメリカツアーではなく日本を選ばれました

イボミ 日本は試合数も多かったし、コースの環境、練習の環境が本当に良くて、練習したらどんどん成長できるなと思って頑張りました。

●現役生活を終えて、旅行に行ったとお聞きしましたが。

イボミ はい、長い夏休みが取れたので、遠くに行きたくなってフランスに行ってきました。次はお母さんと暖かいところでゴルフをすると約束しているのととても楽しみにしています。

●石川さんは今まで遠征などで海外は何度も行っていると思いますが、プライベートで海外旅行の経験はありますか？

石川 旅行はあまり行ったことがないので、今からでも行ってみたいです。

イボミ ゴルフバッグを持たずに行った海外旅行が初めてだったので体が楽でした（笑）

二〇分という限られた時間でしたが、改めて皆さまおめでとうございました。ありがとうございました。





北口榛花(やり投)

陸上競技に出会ったのは、高校入学後に陸上部の顧問からの熱心な誘いによるもの。やり投を始め、北海道大会で優勝したのはそのわずか2ヶ月後。2年生では全国高等学校総合体育大会陸上競技大会で優勝を飾る。

2015年1月には、2020年東京オリンピック代表選手候補に期待される日本陸上競技連盟の「ダイヤモンドアスリート」に認定され、同年7月に行われた世界ユース陸上競技選手権大会では女子やり投(500g)で金メダルを獲得した。2016年日本大学入学。2017年9月の日本学生陸上競技対抗選手権大会では、60m49cmの大会新記録を樹立、優勝した。2018年11月、フィンランドでの国際講習会でチェコのジュニアコーチをしていたデイビッド・セケラックの指導方法に興味を持ち、単身チェコに渡って指導を受ける。2019年5月の木南道孝記念陸上競技大会では、64m36cmの日本新記録を樹立し優勝。2020年日本航空入社。2021年東京オリンピック出場、決勝まで進む。2022年7月に行われたオレゴン世界選手権大会では63m27を投げ、日本の陸上女子フィールド種目で戦前戦後を通してオリンピック・世界選手権で史上初となる銅メダルを獲得。2023年8月に行われた世界陸上ブダペスト選手権大会では、最終投てきで66m73をマークし逆転優勝。日本女子フィールド種目ではオリンピック、世界選手権を通して史上初の金メダルに輝き、2024年パリオリンピック日本代表にも内定した。



イボミ(女子プロゴルフ)

12歳でゴルフを始める。

2008年にKLPGAツアーデビュー。2009年のNefs MasterpieceではKLPGAツアー初優勝を飾る。2010年にKLPGAツアー3勝をあげ賞金女王になり、年間最多勝、最優秀選手、最小ストロークと併せて4冠を達成。

2011年からJLPGAツアーに参戦。2012年のヨコハマタイヤゴルフトーナメント PRGRレディスカップでJLPGAツアー初優勝。同年、賞金ランキング2位まで上り詰める。2015年には自身初の賞金女王となり、韓国と日本両ツアーでの賞金女王は史上初の快挙を達成。同年の年間獲得賞金は男女通じて日本国内ツアー史上最高獲得賞金額となった。2016年は5勝をあげ、2年連続の賞金女王となる。

2023年2月、日本ツアーからの引退を発表。



石川佳純(女子卓球)

元卓球選手の両親のもと、小1で卓球を始める。小6で初参戦した全日本選手権で3回戦に進出し注目され、その後全日本選手権でジュニアシングルス4連覇、インターハイでは3連覇など、ジュニア時代から輝かしい成績をあげる。

2011年の全日本選手権シングルスでは、22年ぶりに高校生が女子シングルス優勝という快挙を成し遂げ、以来、全日本選手権シングルスでは4回の優勝。

2012年のロンドンオリンピックでは、男女を通じて史上初のシングルス4強入り。団体でも史上初のメダルを獲得。

2016年のリオデジャネイロオリンピックでも、団体で銅メダルを獲得。

2017年の世界選手権では、混合ダブルスで日本人選手48年ぶりとなる優勝を果たす。2021年全日本選手権女子シングルスで5年ぶりの優勝。東京オリンピックでは日本選手団副主将として、また団体戦キャプテンとして銀メダルを獲得。

2023年5月、現役引退を発表した。



宮澤ひなた(女子プロサッカー)

2018年、高校卒業後日テレ・ベレーザに入団。それまでは各年代別の代表にも選ばれていたが、2020年以降フル代表に呼ばれない時期が続き、東京五輪への出場は叶わなかった。

WEリーグ開幕直前の2021年2月にはマイナビ仙台レディースに完全移籍。第4節のちふれASエルフェン埼玉戦でWEリーグ初ゴールを挙げる。その後の活躍により、2023年6月には、2023FIFA女子ワールドカップの日本代表に選出。

ザンビア戦、スペイン戦それぞれで2得点を挙げ、いずれの試合のプレイヤー・オブ・ザ・マッチに選ばれた。1大会で2試合以上複数得点を挙げた選手は、同代表史上初。この大会では3度のプレイヤー・オブ・ザ・マッチ、そして5得点を挙げ、大会得点王を獲得。

大会後はイングランドの強豪マンチェスター・ユナイテッドに移籍、11月26日のプリストル・シティ戦では移籍後初ゴールを挙げた。



GOOD DESIGN AWARD
2023年度受賞

DELICA MINI



かわいいフリして、
タツなやつ。

DELICA MINI



○Photo:T Premium 4WD ボディカラー:アッシュグリーンメタリック/ブラックマイカ(有料色) オプション装着車

スピードは抑えめに。エコドライブで環境にやさしく。後座もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

デリカミニ スペシャルサイト
www.mitsubishi-motors.co.jp



私たちは、私たちのために、 スポーツをするんだ。

大好きなスポーツを、全力で楽しみたい。勝ちたいけど、負けて気づくこともある。つらい時は、休んだっていい。だって、スポーツは、自分自身のためにあるのだから。大好きなスポーツを、大好きな仲間といっしょに。

さあ、子どもたちのスポーツへ。





熱海富士朔太郎

スペシャルインタビュー

インタビュアー 松井 康真

新人賞を獲られました熱海富士朔太郎様です。皆様拍手をお願いします。

熱海富士 ありがとうございます。

どうですか？マスコミ取材も最近ものすごく多いと思いますが。

熱海富士 今日はおもう本当に緊張しっぱなしで、今一人なのがすごく心細いですね。

さて、そんな中でまず2023年は熱海富士さんにとってどんな年でしたか？

熱海富士 そうですね、本当に自分の中でいろいろなことがあって、気づいたら

もう終わっていたような一年でしたね、激動の一年でした。

皆様十分ご存知だと思いますが、今年の九月場所、そして十一月場所、どちらも最後まで優勝争いをされていた。一年前に十両から上がった方ですよ。すごい新人が現れたということで大騒ぎになりました。

熱海富士 ありがとうございます。

「熱海富士朔太郎」という名前は熱海出身からということですよ。

熱海富士 そうですね。熱海出身なのでそのままですが熱海富士です。

絶対これで忘れませんね。

朔太郎さんという名前は本名ですよ。カッコいいですよ。

熱海富士 同じ「朔太郎」という名前の方に会ったことなく、珍しい名前なんだなというのはありますね。

今年を振り返ると、2023年一月場所は十両からのスタートでした。昨年新入幕を果たしましたが、一場所にてまた十両に戻りました。どんな気持ちで相撲を取っていらしかったですか？

熱海富士 まずは幕内に戻ってやろう

という気持ちが一番強かったですね。

七月場所で見事十両優勝を果たし再入幕したと思ったら、次の九月場所では幕内で優勝争いをしましたよね？

熱海富士 そうですね。最初は自分も優勝とかあまり意識していなくて、十五日間あるので、一番一番を全力で取っていたんですけど、本当にもうあれよあれよと気付かないうちに優勝争いをしていったという感じですよ。

正直優勝を意識したのは何日目でしたか？

熱海富士 九月は本当に千秋楽まで全然意識してなくて、千秋楽になって勝ったら優勝ということであまり緊張しませんでしたね。

次の十一月場所もまた優勝争いをしましたね。

熱海富士 そうですね。十一月は本当に一番一番意識して、毎日がその積み重ねという感じが自分の中でありました。

周りの方の熱海富士さんへの接し方もどんどん変わったのではないですか？

熱海富士 そうですね。今まではやはり



町に出て、ちよんまげと着物なので、「お相撲さんだ」と言っていたいただく方は

たくさんいましたけど、今は「熱海富士」と名前です。喜んでくださる方が増えて本当に嬉しいです。

2024年、今日、皆さんに何か約束できることをひとつお願いします。

熱海富士 そうですね、2024年も自分の相撲取りきって、皆様に応援していただいているうちは全力で相撲を取り続けます。まずは来場所勝ち越して、もっと上に行けるように頑張ります。応援をお願いします。ありがとうございました。

来年初場所から注目です。改めまして熱海富士 朔太郎様でした。拍手をお願いいたします。



熱海富士 朔太郎

2002年9月3日生まれ 静岡県出身

小学校6年時に静岡県三島市の三島相撲クラブで相撲を始める。

2017年(中学3年時)、全国中学校選手権で個人5位に入る。その後飛龍高校に進学し、1年生からレギュラーで活躍。インターハイや国体、選抜選手権にも出場。

2020年、伊勢ヶ濱部屋に入門。四股名は出身地である「熱海」と、親方の四股名に入っていた「富士」を合わせた「熱海富士」と命名。同年11月初土俵に上がる。2021年1月場所で序ノ口優勝。3月場所では序二段優勝。5月場所は優勝を逃し、3場所連続の各段優勝にはならなかった。2022年3月場所後、新十両に昇進。9月場所後に新入幕したが、11月場所で4勝11敗となり、1場所での十両陥落となる。2023年7月場所で十両優勝し再入幕。9月場所では初の敢闘賞を受賞。11月場所でも11勝4敗をあげ、2度目の敢闘賞を受賞した。

(2018年7月18日 日本経済新聞 夕刊掲載)

公益財団法人 日本道路交通情報センター 池田 克彦(元警視総監)

あすへの話題

私は、神戸市の、それも阪神沿線の出身であるので、阪神タイガースのファンと思われることが多い。確かに、小学生の頃は「阪神ごっこ」の会に入っていたが、これは甲子園球場に無料で入るための方便にすぎない。本当は巨人ファンだが、厳密にいうと長嶋ファンである。いつもテレビの前で長嶋さんを応援していたので、父は、よく「それだけ応援したら、いつか長嶋さんがあいつに來るかもしれないぞ」と冗談を言っていた。

時は移り、私が警察庁で交通規制を担当していた頃、巨人の監督を退団し、日本トライアスロン連盟の会長をされていた長嶋さんが面会に來られた。当時、トリアスロンで初の死者が出て、規制の見直しが議論になっていた。長嶋さんは、私に会うなり「こんにちは」と言われたが、その時、亡き父の言葉がよみがえり「オヤジ、あなたの予言が実現したよ」と思わず心の中でつぶやいた。

長嶋さんは、トリアスロン振興のため無用な規制をやめてほしいと述べられた。私がおっしゃることは理解するが、安易な姿勢の主権者も多いと指摘すると、長嶋さんは深くうなずき、「そうですね。イージーなんです」。私は、世に言う長嶋語は確かにあると美感した。

さて、長嶋さんが立ち去るとき、清涼飲料水販売の女性とぶつかりそうになった。すると彼女は、長嶋さんの顔を見て、呆然とその場で固まってしまったのだ。彼女は照れ臭かったか、「私の息子の一茂さんの方がかしかった。何をしても、長嶋さんはスターだ。」



スマホ防犯は、ALSOK。



今の時代、「暮らしの安心」もみんなのものになるべきだ。

そう考えALSOKがたどり着いたのが、

身近なスマホを使って自分で防犯ができるスマホ防犯です。

カメラとスマホアプリが連携し、リアルタイムで自宅をチェック。

取付もかんたんで月額料金もおトク。

誰でも気軽に始めやすく、アップグレードもでき、

生涯にわたって家族の安全安心がしっかり守られます。

これぞまさに、新時代のホームセキュリティです。

HOME ALSOK Connect

24時間 | 365日受付 |  **0120-39-2413**

日本プロスポーツ大賞の歴史

歴代 大賞受賞者

History of Japan Pro Sports Awards

Part 3

1978年 ▶ 1981年
(昭和53年) (昭和56年)

日本プロスポーツ大賞は、我が国のプロスポーツ界の発展と振興に寄与するために1968年(昭和43年)に第一回の表彰が行われました。

それから50年以上にわたって、プロスポーツ界で活躍する全ての選手及びチームの中から選ばれた大賞受賞者に内閣総理大臣杯を贈り、その功績を称えてきました。今回は第十一回の1978年から第十四回の1981年までの大賞と殊勲賞の受賞者をご紹介します。

主な社会の出来事と合わせて、熱狂と感動を思い出してください。



写真：朝日新聞社

第11回 1978年(昭和53年)

大賞

ヤクルトスワローズ (プロ野球)

広岡達朗監督のもと、創立29年目で初のリーグ優勝。日本シリーズではそれまで3年連続日本一だった阪急ブレーブスを4勝3敗で下し、初の日本一に輝いた。

殊勲賞

具志堅 用高(プロボクシング)
青木 功(男子プロゴルフ)
北の湖 敏満(大相撲)

1978年の主な出来事

- 1月：TBS、人気音楽番組「ザ・ベストテン」放送開始
- 2月：三菱自動車工業が同社初のFF車「ミラージュ」を発売
- 4月：60階建の超高層ビル「サンシャイン60」が開館
- 5月：新東京国際空港(現成田国際空港)開港
- 6月：サザンオールスターズが「勝手にシンドバッド」でレコードデビュー

第12回 1979年(昭和54年)

大賞 具志堅用高 (プロボクシング)

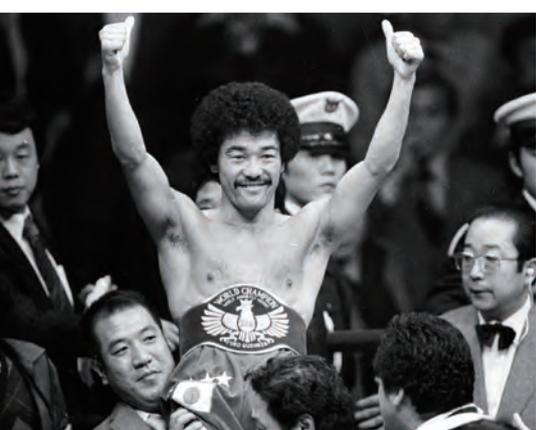
1974年にプロデビュー。1976年に沖縄県出身者では初の世界王者になった。1979年4月には8度目の防衛に成功するとともに、1977年10月から6戦連続でのKO勝ちとなった。

殊勲賞

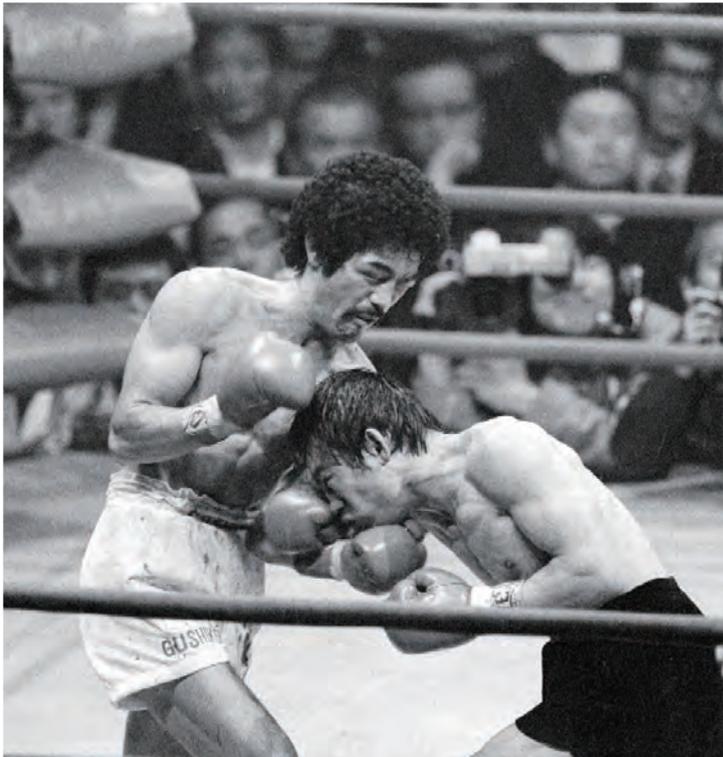
青木 功(男子プロゴルフ)
中野 浩一(自転車競技)
三重ノ海 剛司(大相撲)

1979年の主な出来事

- 1月：巨人への入団契約に関して江川事件と呼ばれる騒動を引き起こしていた江川卓が、前年のドラフト会議で江川の交渉権を獲得していた阪神と一旦入団契約し、即日、巨人の小林繁と江川のトレードで巨人に入団した
- 4月：テレビ朝日で「ドラえもん」放送開始
- 11月：広島が球団創設30年目で初の日本一に輝く



写真：日刊スポーツ/アフロ



写真：報知新聞 / アフロ

第13回 1980年(昭和55年)

大賞

具志堅用高 (プロボクシング)

1980年6月12度目の防衛に成功。ジュニアフライ級の世界王座防衛回数世界新記録(当時)を達成。10月、13度目の防衛にも成功(世界王座防衛13度は日本人男子世界王者の最多記録)

殊勲賞

青木 功(男子プロゴルフ)
木田 勇(プロ野球)
中野 浩一(自転車競技)

1980年の主な出来事

3月：歌手の山口百恵が俳優の三浦友和との婚約を発表
4月：大塚製薬が「ポカリスエット」を発売
松田聖子が「裸足の季節」でレコードデビュー
5月：ロッテオリオンズの張本勲が対阪急ブレーブス戦で史上初の通算3000本安打を本塁打で達成
10月：巨人の王貞治が対ヤクルトスワローズ戦で現役最後となる868本目のホームランを打つ
11月：王貞治が現役引退

第14回 1981年(昭和56年)

大賞

中野浩一 (競輪)

1975年のデビュー戦から18戦無敗の記録を打ち立てる。1980年には、日本の全てのプロスポーツ選手として初めて年間賞金獲得額1億円突破を達成した。続く1981年の日本選手権競輪を制し、高倉登以来となる史上2人目の特別競輪3連覇を達成した。1992年引退するまでの生涯獲得賞金は13億を超えた。

殊勲賞

千代の富士 貢(大相撲)
倉本 昌弘(男子プロゴルフ)
中島 常幸(男子プロゴルフ)

1981年の主な出来事

3月：横綱「輪島」が現役引退
ピンクレディーが後樂園球場のコンサートで解散
4月：マザー・テレサが初来日
10月：日本ハムファイターズがプレーオフでロッテ・オリオンズを下し、前年の東映時代以来19年ぶりにパ・リーグ優勝
巨人が日本シリーズで日本ハムを下し、V9最終年以来となる日本シリーズ制覇



写真：日刊スポーツ / アフロ



明日にいいこと。つなげる、つづける。

なぜ私たちは、暮らしを変えるのでしょうか。
何をすれば、未来にやさしくなれるのでしょうか。
セブン&アイグループは、みなさまと一緒に答えを探しています。
たとえ、ひとりではできないことでも
みんなでつなげれば、きっとできることがある。
ひとりのアクションは、小さくても、
みんなでつづければ、やがて未来は変わりはじめる。
毎日の暮らしの中で、みなさまと一緒にできることを。

CO₂排出量削減のために
店舗に設置した「太陽光発電パネル」



資源としてのプラスチック再利用に
取り組む「ペットボトル回収機」



地域のサポートとお買い物の楽しさも
お届けする「移動販売サービス」



詳しくはこちら
<https://www.7andi.com/sustainability/statement>



株式会社 **セブン&アイ** HLDGS.

人を幸せにする技術だけで、
この星も幸せにできるだろうか。

森も、海も、風も、人も、
同じ空の下で生きている。つながっている。

私たちのイノベーションは、
人と地球、そのどちらも明るく照らすためにある。

みーんなが幸せじゃなきゃ。

挑む。
人と地球のために。



NTT 公式
ホームページ

